

第 32 期 決算速報

(2025 年 7 月 1 日から 2026 年 6 月 30 日まで)



2026 年 8 月 4 日

株式会社 旅籠屋

会社名 (定款上の商号)

株式会社 旅籠屋

英文名 (英文商号)

Hatagoya & Company

代表者の役職氏名

代表取締役 甲斐 真

本店の所在地

東京都台東区寿 3 丁目 3 番 4 号

電話番号

03-3847-8858

連絡先

取締役 亀井 明

I 当期の業績

(1) 損益計算書

(単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

期別	前年度	当年度	当年度	当年度	当年度	当年度	前年同期	前年度
	第 4 四半期	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	累計	比	累計
	2025.4.1～ 2025.6.30	2025.7.1～ 2025.9.30	2025.10.1～ 2025.12.31	2026.1.1～ 2026.3.31	2026.4.1～ 2026.6.30	2025.7.1～ 2026.6.30		2024.7.1～ 2025.6.30
I 営業収益 売上高	580,945	772,603	668,329	506,363,	564,502	2,511,798	+ 2.1%	2,459,774
II 営業費用 売上原価	489,839	516,389	518,716	507,828	516,022	2,058,948	+ 4.0%	1,979,520
販売費及び一般管理費	75,994	81,643	81,746	72,023	75,317	310,731	+ 10.3%	281,621
営業利益または営業損失(▲)	15,111	174,569	67,866	▲73,488	▲26,837	142,118	▲28.4%	198,632
III 営業外収益	5,072	768	304	974	200	2,248	▲78.6%	10,528
IV 営業外費用	7,708	7,759	7,651	7,852	7,174	30,438	▲2.0%	31,049
経常利益または経常損失(▲)	12,475	167,578	60,519	▲80,365	▲33,811	113,928	▲36.0%	178,111
V 特別利益	—	—	—	—	—	—	—	59,211
VI 特別損失	▲200	18,500	2,833	—	—	21,333	▲80.0%	106,626
税引前四半期(当期)純利益または純損失	12,675	149,078	57,685	▲80,365	▲33,811	92,595	▲29.2%	130,695
法人税、住民税	4,422	4,231	4,231	4,231	4,215	16,911	+ 0.9%	16,767
法人税等還付額	—	—	—	—	—	—	—	—
法人税等調整額	▲20,664	—	—	—	17,546	17,546	—	▲20,664
四半期(当期)純利益または純損失(▲)	28,917	144,846	53,453	▲84,597	▲55,573	58,137	▲56.8%	134,592
期中平均株式数	5,589	5,589	5,589	5,589	5,589	5,589	—	5,589
1 株当たり四半期(当期)純利益 または純損失(▲)	5,174 円	25,916 円	9,564 円	▲15,136 円	▲9,943 円	10,402 円	▲13,679 円	24,081 円
※ 客室稼働率	64.3%	58.9%	59.9%	49.0%	56.6%	56.1%	▲8.2p	64.3%

- ・潜在株式調整後 1 株当たり四半期（当期）純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- ・特別損失は、退任役員に対する退職慰労金と裁判関連の支払いによるものです。

(2) 貸借対照表

(単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

			前年度 第 4 四半期末 2025.6.30	当年度 第 1 四半期末 2025.9.30	当年度 第 2 四半期末 2025.12.31	当年度 第 3 四半期 2026.3.31	当年度 第 4 四半期 2026.6.30
科目							
資産の部	Ⅰ 流動資産	現金預金	730,619	915,721	921,506	707,599	504,737
		その他	241,761	263,272	290,462	300,886	220,727
		流動資産合計	972,381	1,178,993	1,211,969	1,008,485	725,464
	Ⅱ 固定資産	有形固定資産	787,157	771,859	752,457	818,212	879,552
		無形固定資産	14,678	13,803	12,928	12,053	11,178
		投資その他の資産	197,596	240,976	239,580	270,552	269,416
		固定資産合計	999,432	1,026,640	1,004,966	1,100,819	1,160,148
資産合計		1,971,813	2,205,633	2,216,936	2,109,305	1,885,613	
負債の部	Ⅰ 流動負債		139,946	250,953	209,436	186,430	168,344
	Ⅱ 固定負債	長期借入金	1,762,829	1,740,829	1,739,829	1,739,829	1,589,829
		他の固定負債	26,800	26,800	27,200	27,460	27,200
	負債合計		1,929,937	2,018,911	1,976,759	1,953,719	1,785,600
純資産の部	Ⅰ 株主資本	資本金	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
		資本剰余金 資本準備金	68,916	68,916	68,916	68,916	68,916
		その他資本剰余金	41,710	41,710	41,710	41,710	41,710
		利益剰余金 繰越利益剰余金	▲111,952	32,894	86,348	1,756	▲53,815
		自己株式	▲56,798	▲56,798	▲56,798	▲56,798	▲56,798
		株主資本合計	41,875	186,722	240,176	155,585	100,013
	純資産合計		41,875	186,722	240,176	155,585	100,013
負債・純資産合計		1,971,813	2,205,633	2,216,936	2,109,305	1,885,613	
	発行済株式総数		5,589 株	5,589 株	5,589 株	5,589 株	5,589 株
	1 株当たり純資産		7,493 円	33,409 円	42,973 円	27,838 円	17,895 円

- ・長期借入金のうち、商工組合中央金庫からの 300,000 千円、日本政策投資銀行からの 300,000 千円は、それぞれ資本性借入金であり、金融検査上資本とみなされるものです。なお、日本政策金融公庫からの 150,000 千円の借入金は、約定により 4 月に全額返済しました。

(3) 株主資本等変動計算書 (2025年7月1日～2026年6月30日、単位：千円、千円未満は切り捨てて表示)

項目	株主資本						純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	
		資本準備金	その他 資本剰余金	その他利益剰余金			
				繰越利益剰余金			
当期首残高	100,000	68,916	41,710	▲111,952	▲56,798	41,875	41,875
第 1 四半期中の変動額 四半期純利				144,846		144,846	144,846
第 1 四半期中の変動額の合計				144,846		144,846	144,846
2025 年 9 月 30 日残高	100,000	68,916	41,710	32,894	▲56,798	186,722	186,722
第 2 四半期中の変動額 四半期純利益				53,453		53,453	53,453
第 2 四半期中の変動額の合計				53,453		53,453	53,453
2025 年 12 月 31 日残高	100,000	68,916	41,710	86,348	▲56,798	240,176	240,176
第 3 四半期中の変動額 四半期純利益				▲84,598		▲84,598	▲84,598
第 3 四半期中の変動額の合計				▲84,598		▲84,598	▲84,598
2026 年 3 月 31 日残高	100,000	68,916	41,710	1,756	▲56,798	155,585	155,585
第 4 四半期中の変動額 四半期純利益				▲55,573		▲55,573	▲55,573
第 4 四半期中の変動額の合計				▲55,573		▲55,573	▲55,573
2026 年 6 月 30 日残高	100,000	68,916	41,710	▲53,815	▲56,798	100,013	100,013

(4) 貸借対照表および損益計算書の作成の基本となる事項

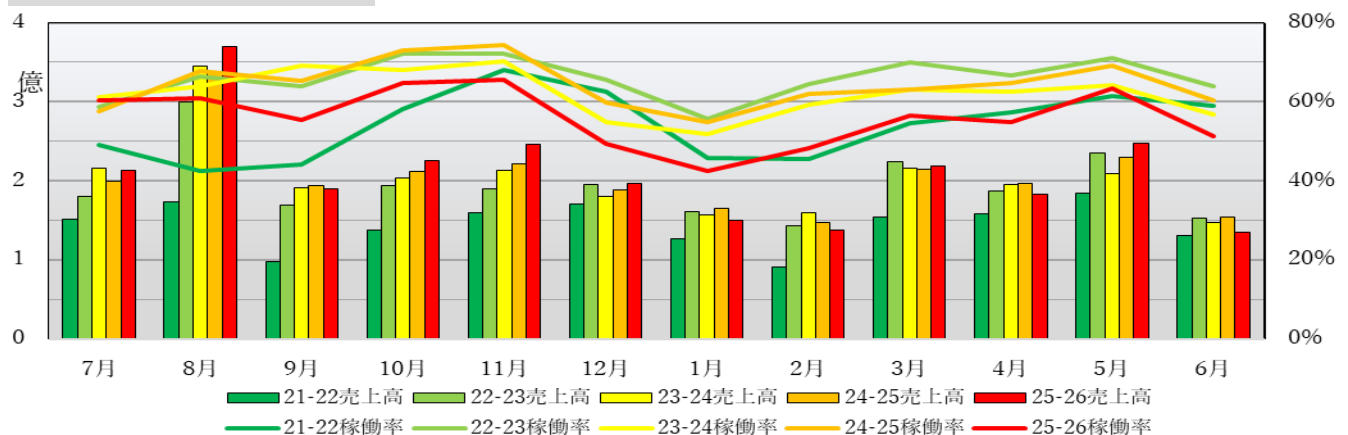
四半期の貸借対照表および損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則および手続は、下記事項を除き正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している重要な会計方針等は「第31期事業報告書 注記表 I.重要な会計方針に係る事項に関する注記」をご参照ください。

なお、事業年度の貸借対照表および損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則および手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

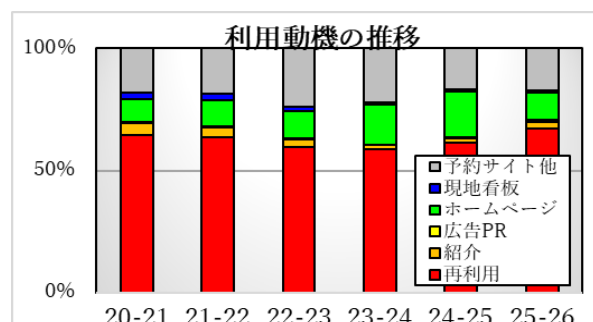
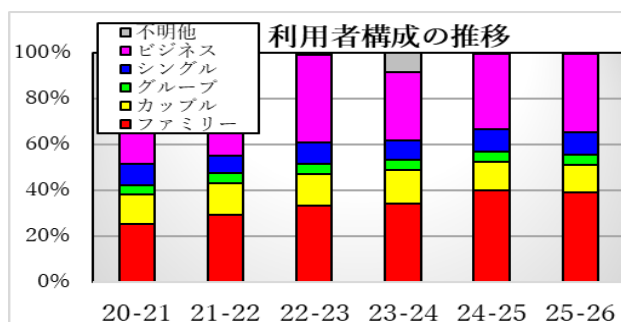
- 固定資産の減価償却の方法 各四半期の減価償却費は年間償却見積額の4分の1相当額を計上しています。
- 経過勘定項目 未収収益、未払費用等の経過勘定項目のうち、重要性の低い項目は、資産および負債に計上せず期間収益または期間費用として処理しています。
- 消費税等の会計処理 仮払消費税等および仮受消費税等は、相殺のうえ、差額を流動資産または流動負債として計上しています。

II 第32期 (2025年7月1日～2026年6月30日) の業績の概況

(1) 月次の業績推移



(2) 顧客属性の推移 (7月1日～6月30日)



利用者構成は、コロナ禍の影響を脱し、ほぼ例年並みに戻っています。具体的には、ファミリー（39.3%）、カップル（12.1%）、グループ（4.4%）、シングル（9.7%）、ビジネス（34.3%）でした。

利用動機については、再利用が 67.2%と 2/3 を超え、新規客が減少しているようです。ホームページの減少も目立ちます。

Ⅲ 第 32 期の売上高および利益の予測について（単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております）

科目	期別 第 29 期 通期実績 2022.7.1～2023.6.30	第 30 期 通期実績 2023.7.1～2024.6.30	第 31 期 通期実績 2024.7.1～2025.6.30	第 32 期 通期実績 2025.7.1～2026.6.30	第 33 期 通期予想 2026.7.1～2027.6.30
売上高	2,330,659	2,431,760	2,455,156	2,511,798	2,600,000
経常損益	169,268	216,090	178,111	113,928	120,000
当期純損益	200,088	203,997	134,592	58,137	80,000

当期は客室稼働率の低下が続く、売上高は微増となったものの経費増により経常利益は 1/3 以上減少しました。加えて法人税等調整額が大きくマイナスに転じたため、最終損益は半減以下となり、繰越利益剰余金のマイナスも半減にとどまりプラスには届きませんでした。

来期は、いずれも微増となる見通しです。

Ⅳ 資金および借入金の状況

(1) 現金および預金の増減（単位：千円、千円未満は切り捨て）					
科目	期 第 31 期第 4 四半期 2025 4.1～6.30	第 32 期第 1 四半期 2025 7.1～9.30	第 32 期第 2 四半期 2025 10.1～12.31	第 32 期第 3 四半期 2026 1.1～3.31	第 32 期第 4 四半期 2026 4.1～6.30
現金および預金の増減額	+84,931	+185,102	+5,785	▲213,907	▲202,862
現金および預金の四半期首残高	645,688	730,619	915,721	921,506	707,599
現金および預金の四半期末残高	730,619	915,721	921,506	707,599	504,737
(2) 短期借入金の増減（単位：千円、千円未満は切り捨て）					
科目	期 第 31 期第 4 四半期 2025 4.1～6.30	第 32 期第 1 四半期 2025 7.1～9.30	第 32 期第 2 四半期 2025 10.1～12.31	第 32 期第 3 四半期 2026 1.1～3.31	第 32 期第 4 四半期 2026 4.1～6.30
短期借入金の増減額	-	+22,000	+1,000	▲23,000	-
短期借入金の四半期首残高	0	0	22,000	23,000	0
短期借入金の四半期末残高	0	22,000	23,000	0	0
(3) 長期借入金の増減（単位：千円、千円未満は切り捨て）					
科目	期 第 31 期第 4 四半期 2025 4.1～6.30	第 32 期第 1 四半期 2025 7.1～9.30	第 32 期第 2 四半期 2025 10.1～12.31	第 32 期第 3 四半期 2026 1.1～3.31	第 32 期第 4 四半期 2026 4.1～6.30
長期借入金の増減額	-	▲22,000	▲1,000	-	▲150,000
長期借入金の四半期首残高	1,762,829	1,762,829	1,740,829	1,739,829	1,739,829
長期借入金の四半期末残高	1,762,829	1,740,829	1,739,829	1,739,829	1,589,829
(4) 投資その他の資産の内訳 第 32 期第 4 四半期末（2026 年 6 月 30 日）時点（千円未満は切り捨てて表示）					
170,357 千円	...	借上直営店における差入れ保証金（契約満了時返済）			
94,356 千円	...	「水戸大洗店」「仙台亘理店」「小淵沢店」「東京新木場店」改修工事建設協力金			
1,210 千円	...	取引信用金庫などへの出資金			
1,846 千円	...	信用保証協会への信用保証料など			
1,611 千円	...	繰延税金資産			
34 千円	...	リサイクル預託金			
合計 269,416 千円					

Ⅴ 今後の事業展開について

「那須店」は、7 月 17 日にオープンしました
2 月に着工し、7 月上旬に竣工。オープン準備も終わり、7 月 17 日、約 3 年ぶりに営業を再開しました。
新契約店舗で改修工事が進んでいます
契約期間が満了した初期の店舗で順次新契約の交渉を進め、これにともなって改修工事を行い、誰でもトイレ、非常用発電機、EV 用普通充電設備なども新設しています。「仙台亘理店」「小淵沢店」「前橋南店」「東京新木場店」「九十九里店」では完了しています。
オフシーズン料金の適用を始めています
昨年 8 月の料金値上げ以降、客室稼働率の低下が目立っているため、5 月より過半の店舗において「オフシーズン料金」を設けました。
認知度アップを図っています
新規客の減少が目立つため、7 月に 2 輪雑誌「Clubman」へ広告を掲載しました。また、ホームページへのアクセスを増やすため、3 月よりホームページ内に「旅籠屋がお勧めする旅の特集ページ」を新設するとともに、MEO 対策に取り組んでいるところです。

以上